

# 議会だより

伊那市議会事務局

TEL 0265-96-8149  
FAX 0265-76-9117  
E-mail gk@inacity.jp

Vol.48

## 経済建設委員会の活動報告

経済建設委員会は、10月19日～21日に北海道・道北地域の視察研修を実施しました。

### 北海道第二の都市「旭川市」

人口約35万人の旭川市では、中心市街地活性化について視察しました。まず「まちなか交流館」が企画するツアーに参加しました。

市のメインストリート「買物公園」は、幅約20mの歩行者専用道路が約1km続きます。駅と旧陸軍第七師団を結ぶ通りとして発展し、後に全国初の恒久的歩行者専用道路となった商店街の歴史やかつての姿を、当時の写真で拝見しました。

続いて市役所で、市の中心市街地活性化基本計画の内容と成果について説明を受けました。

同計画は、平成23年にスタート、郊外型大型商業施設の進出などによって衰退が進んだ市街地

の活性化を図り、ハード事業からソフト事業まで約70の事業を展開。駅の高架化などの大事業もあり、国の補助を含めて計千数百億円を投じました。

歩行者の増加など一定の効果は上がっていますが、今年道北唯一の百貨店が閉店。観光客も呼び込みきれず、費用対効果を含めて課題もあります。

一方で、空き店舗が増えている角では、若い世代や移住者が個性的な飲食・物販などの店を開く例が相次いでおり、盛り上がりを見せ始めています。

### 環境未来都市「下川町」

循環型森林経営の町として、全国に知られています。昭和28年の国有林の払い下げで、1221

haを8800万円で購入。当時の町の予算が1億円だった事を考えると、林業にかける決意を感じます。

災害や財政破綻などの苦難を乗り越え、昭和35年に年間50haの伐採収穫計画をたてました。現在、町有林面積は4700ha。年間50ha、60年間で3000haの伐採と植樹をして、次世代の町民の仕事につなげています。

注目すべきは、あますところない森林資源の利用です。大径木は建築用材や集成材に、中径木は芯を抜き木製排水管などに、小径木は炭に、枝はクリスマスツリーに、残材はバイオマスエネルギーの燃料となります。

さらにバイオマス利用で、零下30度にもなる悪条件を逆手にとって、国から様々な認定を受け、資源が地域内で循環し、富が外に出て行かない地域づくりを行っています。木質ボイラーによる地域温水供給で公共施設の暖房などを行い、年間1700万円を削減。半分をボイラーの更新に、半分を子育て支援に使っています。最近では人口が増加に転じているようです。

### 写真の町「東川町」



東川町の視察

写真文化を通じて国際的な交流を目指し、昭和60年に「写真の町」を宣言しました。

美しい景観づくりに取り組む一方で、全国高等学校写真部の目標である「全国高等学校写真選手権大会（写真甲子園）」や「東川町国際写真フェスティバル」などの開催を通じて「人と人との出会いと交流」を大切にしたい町づくりを行っています。

東川町にはユニークな「ひがしかわ株主制度」があります。東川町を応援しようとする方々が東川町への投資（寄付）によって株主となり、まちづくりに参加し応援するサポート制度です。

一度納税した方は「株主」として登録、関わりを持ち続けてもら

うように多くの仕組みを作っています。来町時の優遇制度や植樹事業参加企画など、株主を大切にするので、今では町の人口を超える株主がいます。

どんなに児童数が減少しても小学校の統合は考えない町の方針、積極的な宅地造成と販売、民間アパートへの建築支援、二世帯住宅への建設費補助など。

このような移住支援がある東川町には、様々な分野の芸術家などが移住し、30を超える店が開店して人口が増えています。



## — 12月定例会議会の放送予定日 —

伊那市チャンネル 伊那ケーブルテレビ  
12月番組(予定)表 デジタル 11ch, C511ch

生放送		再放送	
11月28日	10:00 議会開会	11月29日	19:00
12月 7日	9:30 一般質問(1日目)	12月 8日	19:00
12月 8日	9:30 一般質問(2日目)	12月 9日	19:00
12月 9日	9:30 一般質問(3日目)	12月10日	19:00
12月16日	10:00 議会閉会	12月17日	19:00